

校区の特徴

すこやかコミュニティ事務局を拠点に、校区内7行政区や地域の各種団体、学校などが協力し合いながら活動しています。



**すこやか
コミュニティ**
【須恵第一小学校区】

事務局長
櫻木 幹夫さん

子どもたちが
将来住み続けたいと思える
コミュニティをつくる！

すこやか秋祭り／イルミネーション飾りつけ

「すこやか秋祭り」は須恵第一小学校グラウンドを会場に、約2,000人もの来場者でにぎわいます。冬のイルミネーションでは、シンボルとなる皿山公園が美しく彩られます。

すこやか秋祭り



イルミネーション飾りつけ

べったんフェア



自分たちも楽しみながら
一緒に汗をかいていきたい
と思っています

いきいき

コミュニティ
【須恵第二小学校区】



事務局長
米倉 清美さん

お米や竹など、地域の豊富な資源を活用し、地域の活性化を推進しています。

校区の特徴



竹灯籠づくり



べったんフェア／ 竹灯籠づくり

校区内で収穫されたお米を使って餅つきをする「べったんフェア」は、長い行列ができるほど大人気。また特に力を入れているのが冬のイルミネーションの名物竹灯籠づくりです。手作りの竹灯籠が須恵駅をやさしく灯します。



ふれあい夏フェス



ふれあい夏フェス／子ども食堂

「子ども食堂」など新しい取り組みの他、四季折々のマルシェなど活発に活動しています。「ふれあい夏フェス」では、コミュニティ主催で花火を打ち上げるなど、須恵町のにぎわいの源となっています。

校区の特徴



ふれあい通り

保育園から高校までがそろった文教地域。移住者が最も多く、活発なコミュニティで、さまざまなイベントで地域を盛り上げています。



**ふれあい
レインボー**
【須恵第三小学校区】

事務局長
栗原 美喜男さん

地域の活動に誇りを持ち
喜びと楽しみを
創造していきたい！

子ども食堂

SUE×EN えんのある暮らしをひもとく

これが須恵町式 くらしのコミュニティ



須恵町ならではの
自立したコミュニティ

行政区や各種団体などが単独では解決できない課題や問題を校区の人々が協力して解決する「校区コミュニティ」。須恵町では3つの小学校区を単位とした校区コミュニティを形成し、行政区、子ども会、シニアクラブ連合会、消防団など地縁組織の共助による住みよい地域づくりを目指しています。

須恵第一小学校区には「すこやかコミュニティ」、須恵第二小学校区には「いきいきコミュニティ」、須恵第三小学校区には「ふれあいレインボー」があり、各コミュニティでは、目的のキーワードを「住みよい地域づくりを目指す」「子どもの健全育成を推進する」としています。また、近年では生活環境改善事業や生活支援事業を地域自らが主体性を持って展開する「くらしのコミュニティ事業」を実施。地域・家庭・学校が連携・協力して「まちづくり」を推進しています。地域の中でたくさん「えん」が生まれ、まちづくりの輪がどんどん広がっています。